

八風中学校だより

第10号 平成30年7月17日

□ 壮行会がありました！

7月13日（金）の4限目に生徒会主催の壮行会がありました。どのクラブのキャプテンも実に堂々としていました。またキャプテンの呼びかけに応じて立ち上がり返事をする部員たちの息の合った行動に今まで培ってきた連帯感・絆が垣間見られた壮行会ともな



りました。以下の文章は壮行会で話した私の激励の言葉の一部です。「(前略) 県大会・東海大会そして全国大会へとつながる中体連三泗地区予選がいよいよ始まります。そして、これらの大会が3年生たちにとっては最後の大会となります。

極端な話をすれば3年生たちは1年生のときに入部してから今日までこの大会のために毎日毎日汗を流し、そして時には涙を流してきたのです。

ぜひ完全燃焼し、悔いを残さない一試合一試合を重ねていってください。

そして今まで共に笑い、共に泣き、そして共に汗を流してきた仲間たちとの時間を一試合でも多く、1分、1秒でも長く持てるようにしていってください。

また、皆さんが先輩たちから引き継いできた八風中学校の伝統と根性を皆さんの姿を通して、ぜひ後輩たちの胸に焼き付けて引き継いでいってもらえるようにしていってください。

試合に出場する2年生・1年生たちはもちろんのこと試合を応援する皆さんもぜひ、それぞれの場で全力を尽くし、3年生の最後の試合に花を添えて下さい。(後略)」

□ 地域から当てにされる存在に！

前号で紹介しました 8 月 26 日（日）の地区防災訓練に昨年度を大きく上回る 27 名もの生徒たちが応募してくれました。また、今年から始まる竹永地区の夏祭りのスタッフにも 8 名もの生徒たちが名乗りを挙げてくれました。3 年前、本校に赴任した際に地域を廻っていた時、多くの方々が「小学校の時には地域の行事にもよく参加してくれていたが、中学校になってちっとも参加してくれないようになった。まあ、勉強や部活動があるから仕方ないんやけどな…」と一定の理解は示しつつも寂しそうに、残念そうに言っていた顔が思い出されますが、皆さんたちの参加を得て、きっとあの方々も笑顔をほころばせているのだろうなあ、と思ったりしています。地域の方々は中学生の皆さんたちを宝物のように大切に慈しんでくださっています。だから、皆さんには地域の中にあって地域を明るく幸せにしていくなような存在になって欲しいなと私は願っています！

□生徒会が動き出す！

7 月 6 日に西日本を襲った豪雨被害に対して、本校生徒会が動き出しました。一昨年度の熊本地震の際には、救援物資を届けた本校ですが、今回は募金活動を行うこととなりました。お金を稼^{かせ}ぐ術^{すべ}を持たない中学生たちに募金をお願いすることは大変、無理のあることではありますが、生徒会のメンバーが止むに止まれぬ思いの中で打ち出した取り組みです。机の引き出しやかばんの底などに眠っている小銭などが見つかったら、ぜひ募金活動に協力して欲しいと思います。大切なのは思いを届けることです。しんどい思いをしている人に、あなたは一人ぼっちではないよ！との思いを届けることは、とても大切なことであると思います。ぜひ、皆さんの思いを生徒会に託してください。

□中体連三四地区予選始まる！

35℃を越す猛暑の中、三四地区予選が水泳大会を皮切りに始まりました。本校から参加した 6 名の生徒たちは全員が出場した種目での県大会出場という快挙を成し遂げてくれました！幸先の良いスタートを切った水泳の仲間たちに他のクラブも続こう！